

基本施策6	健全な心身と思いやりをはぐくむ健康・福祉のまちづくり
目標8	健康で暮らせるまちをつくる【保健】
基本戦略16	病気を予防し健康を保つ

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性		
0525000	市民(成人)	生活習慣病を予防改善して心身ともに健康な状態が維持でき、元気で自分らしく生活することができる							①特定保健指導の対象者以外に、健診後の指導が必要な割合が高いことから、市内で要指導率の高い項目に重点をおいた健康教室の実施を検討する必要がある。 ②参加しやすい場所での実施、広報等での周知方法を検討し、教室の内容を凝縮し、より参加率をあげられる工夫が必要である。	健診後の指導に対して、要指導率の高い項目に重点をおいた教室実施を検討する。 参加率を上げる工夫をしていく。	継続する		
事業名													
生活習慣病予防・改善事業	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績	
	健康相談参加者数		人	10000	4261								
	健康教育参加者数		人	1000	4534	事業費	1,080	481					
	生活習慣改善等による検査結果の改善率		%	70	91	特定財源	806	104					
所管課						一般財源	274	377					
国保・健康課													
	数値化できない成果		自己の健康感の変化、生活習慣改善における意識の変化、満足度										
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図										今後の課題	改善の方向性
0524600	市民	「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することで、健康な身体をつくり、生活習慣病の予防または、生活習慣病の改善を図る。							乳幼児の栄養指導数の減少に対し、栄養指導・相談の場を広げていく必要がある。 また、朝食を食べる習慣が無い子どもは少ないが、(1歳6ヶ月児0%、3歳児1.5%)、朝食を摂取しない日がある子どもが多く存在するので(1歳6ヶ月児10.2%、3歳児9.0%)、規則正しい生活習慣の確立を関係機関及び団体で協力し、取り組んでいく。	個別の栄養指導等を強化して推進していく。 健全な食生活を実践するために、継続して関係機関及び団体と協力し取り組む。	継続する		
事業名													
食育・食生活改善事業	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績	
	栄養指導数(乳幼児)		人	1500	1293								
	栄養指導数(成人)		人	500	609	事業費	1,449	1,369					
	1歳6ヶ月児の朝食摂取率		%	92	88.9	特定財源	0	0					
所管課	3歳児の朝食摂取率		%	90	89.2	一般財源	1,449	1,369					
国保・健康課	食生活改善推進員養成講座修了者数		人	165	166								
	数値化できない成果		食生活改善推進員活動による健康に対する意識の向上、生活習慣病の罹患の予防・遅延状況.乳幼児健診における保護者の悩みの軽減状況										
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図										今後の課題	改善の方向性
0525200	小児期の子ども及び保護者	基本的な小児期の生活習慣の確立ができるようにする。 保・幼・小・中学校との連携							小児期は心身の成長が著しく、基本的な生活習慣が確立する時期である。学校・家庭・地域の連携の下、健康的な生活習慣を身に付けることは、生涯を通じた健康づくりの重要な基礎である。 今後、さらに連携を深め、組織の垣根をこえた支援体制の整備が課題である。	小児の生活習慣を確立支援するために関係機関との連携を更に深め、体制整備を図る。	継続する		
事業名													
小児生活習慣確立支援事業	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績	
	健康教育開催回数		回	5	3								
	学校保健委員会への参加回数		回	5	6	事業費	0	0					
					特定財源	0	0						
所管課						一般財源	0	0					
国保・健康課													
	数値化できない成果		生活習慣改善意識の変化										

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性
0524400	妊婦・乳幼児および保護者	心身ともに健康に暮らすことができ生涯を通しての健康づくりへの基礎づくりが出来るようにする。						妊婦健診の受診率については、昨年度より発行枚数が大幅に増加したこともあり、評価指標では低下しているが、枚数内容については、今後県内の状況を踏まえた計画的なサービス提供を実施できるようにしていく必要がある。健診内容等は国の動向により大きく変化していくことが推測されるので、そのことも考慮した取り組みが必要かと思われる。また、児の健やかな発育を支援するために、乳幼児期の健診・相談等の充実および母子愛育会活動支援をより強化し、地域全体で子育て家庭の健康を支える取り組みが必要である。		健診の受診率向上の取り組みを継続して実施する。妊婦健診については、受診率向上だけでなく、その必要性和内容を周知啓発していくことが重要と考えて取り組む。乳幼児相談件数が増加していることから、内容等ニーズに沿った体制作りを検討する。母子愛育会への支援としては、情報を共有し共に地域の母子保健を考え積極的にいかかわっていく。		継続する
事業名												
母子保健・支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)							
	3～4か月児健康診査の受診率	%	95	94		計画	実績					
	1. 6歳児健康診査の受診率	%	95	96.5	事業費	41,938	31,465					
	3歳児健康診査の受診率	%	95	95.3	特定財源	8,953	5,040					
所管課	2歳児歯科健康診査の受診率	%	65	63.6	一般財源	32,985	26,425					
国保・健康課	妊婦健康診査受診券の利用率	%	95	74.4								
	数値化できない成果											
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性
0524300	乳幼児～高齢者	健康な歯と歯ぐきをつくり、80歳で自分の歯を20本持ち噛むことができるよう支援する。						現在は、まだまだ歯科保健の重要性が市民に行き届いていない状況にある。歯科が身体の健康に深く関係をしていることや、将来のことを見据えた健診の普及をするために、医療へ到達する前の一次予防としての健診やホームケアに対する意識の改善・向上に取り組む必要がある。		歯の健康の重要性を幅広く啓発し、健康教室や歯科健診の参加者を増やしていく工夫をするとともに、意識の改善、向上に取り組む。		継続する
事業名												
8020運動推進事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)							
	2歳児歯科健診の受診者数	人	300	225		計画	実績					
					事業費	962	44					
					特定財源	0	0					
所管課					一般財源	962	44					
国保・健康課												
	数値化できない成果											
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性
0524900	市民(成人)	健康改善及び疾病の早期発見を行い、健診結果から発病予防に積極的に取り組み、健康の保持増進を図るようにする。						制度改正後、統計報告の変更点があり、単に以前の受診率との比較が出来ないが、がん検診受診率は増加しているので、より受けやすい検診体制づくりを申し込み案内の工夫や周知に重点を置き、今後も検討を続けていく。		引き続き検診体制を工夫検討していく。		継続する
事業名												
健康診査事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)							
	検診受診者総数	人	17000	16988		計画	実績					
	乳がん受診率	%	20	18.9	事業費	43,913	34,094					
	子宮がん受診率	%	20	19.2	特定財源	4,317	9,139					
所管課					一般財源	39,596	24,955					
国保・健康課												
	数値化できない成果											

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0803700	後期高齢者被保険者	健康改善及び疾病の早期発見を行い、健診結果から発病予防に積極的に取り組み、自己の健康管理を促すようにする。							周知徹底の強化により、初年度に比べ、受診率(健康管理意識)の向上がみられた。 しかしながら、受診後の継続的な健康管理ができているか把握ができていないのが現状であり、今後の課題であると考ええる。	40～74歳については、健診後の特定保健指導等フォロー体制があるが、75歳以上の受診者についても市開催の健康相談へ導くなどの体制整備を検討したい。	継続する
事業名											
健康診査事業(後期高齢者)	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	健康診査等受診率	%	25	28.92517007	計画		実績				
						事業費	14,481	14,905			
						特定財源	12,921	14,343			
所管課						一般財源	1,560	562			
国保・健康課											
	数値化できない成果	健康診査の結果により、自己の健康管理を行うようになった方の割合									
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図									
0533800	大川地区・木田郡医師会、香川大学、住民	医療水準の引き上げ、医療連携の推進、地域リハビリテーションの医療水準の引き上げ							SCNでの広報活動を継続するとともに、院内掲示のみならず、モニターなどでも広報する。	SCN、院内掲示、院内モニター、ホームページなど周知方法を工夫し、参加者を増やす。	継続する
事業名											
医療提供サービスの充実事業(各教室の実施)	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	糖尿病教室参加人数	人	120	244	計画		実績				
	酒害教室参加人数	人	220	221	事業費	656	656				
	安産教室参加人数	人	180	160	特定財源	262	262				
所管課						一般財源	394	394			
市民病院経営管理局総務企画課											
	数値化できない成果										
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0524701	市民	市民自ら、健康づくりに関心を持ち、積極的に健康づくりや健康管理に取り組み自立して生活できる健康寿命を延ばす							日常業務の合間で研修会等に参加するのは困難な状況であるが、複雑多様化する健康課題に適切に対応するためには専門職としてのスキルアップは必須である。積極的に参加できる体制整備につとめ、学びを共有するための、研修復講などを推進していく。 また専門職の現任教育・新任教育を部署の枠を超えて体系的に取り組むことで分散配置による弊害を減らし人的資源の確保につとめる。	複雑多様化する健康課題に適切に対応するためのスキルアップに努め、その体制充実を図っていく。	継続する
事業名											
健康づくり活動推進事業(保健・栄養指導の充実)	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	保健指導数	人	2000	3392	計画		実績				
	栄養指導数	人	350	316	事業費	542	394				
						特定財源	0	0			
所管課						一般財源	542	394			
国保・健康課											
	数値化できない成果										

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性	
0524100	心の健康づくりが必要な市民	心のバランスが保て地域で生活するための環境づくり。 心の健康に関する知識の普及啓発。							精神的な問題を抱えたケースに対応するためには、専門家(医師等)によるコンサルテーションや庁内専門職間のケース検討や情報共有によってスキルアップを図る必要がある。 また、自殺対策としての心の健康や精神疾患についての正しい知識の普及啓発に取り組み、住民が自分や家族の心の健康に関心を持ち、自殺の危険に気づいたときに適切な対応ができるよう理解の促進を図る必要がある。	心の健康に対する市民の意識が低いことから、継続して普及啓発に努める。 複雑多様化する相談等に対応するためのスキルアップを図る。	継続する	
事業名												
心の健康づくり事業	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績
	心の健康づくり教育受講者数		人	200	120							
						事業費	216	156				
						特定財源	0	0				
所管課						一般財源	216	156				
国保・健康課												
	数値化できない成果		相談内容、関係機関との連絡調整内容									
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図										今後の課題
0525100	さぬき市に住民登録があり、予防接種法に基づいて予防接種を受けることのできる者	安心して予防接種を受け、疾病に罹患せずに健康を保てるようにする。							引き続き、予防接種や感染症予防について、広報誌及びケーブルテレビまたは医療機関通じて周知・啓発を行う必要がある。 3～4ヶ月児健診時に予防接種の必要性や定期予防接種の接種間隔等について周知を図り、1歳6ヶ月児健診・3歳児健診に接種状況について確認する。 日本脳炎予防接種が再開となり、第2期の接種も可能となったが、中でも優先させるべき年齢の者に対する周知方法について、ワクチンの流通状況を鑑みながら検討する必要がある。 Hibワクチン・子宮頸がんワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種として追加になる見込みであるが、任意予防接種から新たに定期扱いとなるものであることから、疾病やワクチンに対して正しい理解と認識のもとに接種することが望ましく、周知方法等について十分に検討する必要がある。	制度改正等に対して常に医療機関と情報を共有し、正しい認識のもと市民が接種できるよう体制を整備する。また、様々な手段で適正な周知啓発を図っていく。	継続する	
事業名												
予防接種事業	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績
	ポリオ予防接種接種率		%	98	96							
	BCG予防接種接種率		%	98	98	事業費	78,065	59,377				
	三種混合予防接種接種率		%	98	96	特定財源	4,328	6,001				
所管課	麻疹・風しん第1期予防接種接種率		%	98	86	一般財源	73,737	53,376				
国保・健康課	麻疹・風しん第4期予防接種接種率		%	98	82							
	数値化できない成果											
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図										今後の課題
0901600	基準日に5歳間隔の節目年齢の女性 (20.25.30.35.40.45.50.55.60歳)	女性特有のがんによる死亡者数を減少させるために、がんの早期発見と継続的な検診を受け続ける意識啓発・普及を図る。							子宮頸がん・乳がん検診の受診率は、無料クーポン券を配布することで伸びているが、目標値までは達していないので、受けやすい周知、啓発活動が今後も必要である。	無料クーポン券を配布することで啓発と継続した検診の推進を図っていく。また、若年層の受診者が増加しているが、全体の受診率を目標に近づけるよう体制整備を図る。	継続する	
事業名												
女性特有のがん検診推進事業	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画				実績
	子宮頸がん受診率(全体)		%		20.4							
	乳がん検診受診率(全体)		%		23	事業費	6,357	5,851				
					特定財源	6,356	6,356					
所管課						一般財源	1	-505				
国保・健康課												
	数値化できない成果											

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード		事務事業の対象		事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性	
0532800		病院利用者		地域住民が常に安心して暮らせる環境を作るため、退院後を始めとする生活支援に対する指導、相談業務の充実を図る。また各種健康教室の開催により、病気に対する予防啓発に努める。						複雑になる福祉制度について、今後とも知識のインプットが必要になる。		ソーシャルワーカーは、引き続き、社会福祉制度、医療制度等に精通するようにし、地域の医療機関や福祉施設との連携に努める。		継続する	
事業名															
国保健康管理事業		指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)								
		総合相談窓口における新規相談		件数	4500	6501	コスト(千円)		計画						実績
							事業費		11,743						11,148
							特定財源		5,721	4,450					
所管課							一般財源		6,022	6,698					
市民病院経営管理局総務企画課															
数値化できない成果															
事務事業コード		事務事業の対象		事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性	
0533600		健診・人間ドック受診者		法令等に基づく健診、疾病の早期発見に努めるために人間ドックを実施。						・当院を利用して頂いている患者数を現状維持できるように充実したサービスを提供していきたい。 ・人間ドック受診者数の増員を希望するが、施設上の問題がありできない。 ・昨年度からの課題であるが、事務処理の円滑化を検討していきたい。		・現状においては、施設の問題もあり、サービスの充実や受診者数の増加は困難な状況にあるが、新病院が稼動する平成23年12月に向けて、1泊2日ドック施行の有無や受診者数の増加策について検討を開始すること。 ・健診システムについては、新病院建設に係るシステム更新は予定されていないが、現システムは、導入後6年を経過しており、新病院稼動後1年後での更新に向けて、新システム導入計画を策定すること。		重点的に継続する	
事業名															
健診・人間ドック業務		指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)								
		人間ドック・脳ドックの実施者数		人	1800	1930	コスト(千円)		計画						実績
		その他健康診断実施者数		人	1700	1900	事業費		3,158						3,271
							特定財源		0	0					
所管課							一般財源		3,158	3,271					
市民病院経営管理局患者サービス課															
数値化できない成果		健康診査の結果により、自己の健康管理を行うようになった方の割合													
事務事業コード		事務事業の対象		事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性	
0509700		市民、犬等の管理者		犬等の適切な管理をし、狂犬病等感染症の発生を防ぐ						ペットの適正管理について、市民にさらに周知する必要がある。		狂犬病予防や飼い犬等、ペットも正しい飼い方について広報啓発を行い、伏せて野犬対策に取り組む。		継続する	
事業名															
飼い犬・野犬等対策事業		指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)								
		狂犬病予防注射接種率		%	60	53	コスト(千円)		計画						実績
		捕獲野犬数		頭	200	123	事業費		7,235						7,033
							特定財源		7,235	7,033					
所管課							一般財源		0	0					
生活環境課															
数値化できない成果															

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0509800	市民	感染症の発生を防ぐ							食中毒防止を呼び掛ける広報等については、少しずつ徹底されているが、国保・健康課との連携をさらに密にする必要がある。	食中毒防止について、夏季だけでなく、年間を通じて啓発を行う。	継続する
事業名											
防疫事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)						
	法定感染症発生件数	件	0	0		計画	実績				
					事業費	251	226				
					特定財源	251	0				
所管課					一般財源	0	226				
生活環境課											
	数値化できない成果										
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図									
0524200	施設を利用する市民	保健事業の活動の拠点をつくる							昨年度に引き続き、さぬき市有の類似施設と使用料について協議することがあれば、定期使用団体等に考慮する必要があるが、保健センターは管理者が常駐している施設でないため、申請理由や利用対象者等、今まで以上に明記することが必要でないかと思われる。また、老朽化による破損や汚れが増えてきており、どこを優先的に修繕するかを検討し、利用者が心地よく使える施設とする。	利用者ニーズは高いが、今後コストの増も見込まれることから、適正な利用料を含め、類似施設と合わせた協議が必要である。また、計画的な修繕を検討していく。	継続する
事業名											
保健センター管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)						
	保健センター利用者数	人	17000	17300		計画	実績				
	利用者一人当たりのコスト	円	259	239	事業費	4,404	4,144				
					特定財源	1	3				
所管課					一般財源	4,403	4,141				
国保・健康課											
	数値化できない成果										